

## Cover

穴が胸にあいたように 昨日の事思い出した  
これでも繰り返す 今日に何が埋めこなさ  
もう一人の自分だけには 見つからぬ様に出たよ  
つらい事も 悲しい気持ちも なくなるはずだよ  
(埋めたいよ)

いつがうかばおれおれに 寄りつかない思ひ達が  
螺旋階段昇りも 飛んで知らないよ  
こりまていひま、いひ加減な振りも  
朝日が差し込むのは カートをすぐに開ける  
(易いこと)

欲しいものは 雲の上で 踊るのはいつもの世  
手にできないものが あるから 生きてける  
明日はこの辺で 忘れたいわねように  
一針先の自分に 間に合うように 伝えるよ

## 流星

昨日までの雨の残った水たまり  
覗き込んで写るなく土の光  
その夜になってもこの光残ったら  
両手で包みこんで空に放したい  
いつもキレイな星空が僕に話しているよ  
いつかなくなるならキレイに輝くよ  
あの目角がなかった星のひびく片を  
今ならこの手でも触れられるのかな  
眠れない夜中に埋めつくす頭  
片隅で色褪せる思い出は消えた  
もしもこの夜も色褪せて思い出になるのなら  
今だけは外見で願いをかけよう  
月の光さえ消えてしまうほどの  
流れ星の星屑に心踊らせる  
溢れだしてゆく涙に写るのも  
全て受け止める夜空の星が一瞬  
燃えつきし夢  
耳を澄ましたまま聞かぬ足音一つ  
星の流れる音 3/4拍子 消えた...

なないろのかげら

あゝかみらすの日曜日 朝日が僕を包むのに  
いつよりも部屋が広い様な、そんなにも僕は自由なんだ  
晴れた空見上げてみたらなぜか自然に軽くスッポ  
あゝかみらすの日曜日 赤い夕日にサヨウナラ。  
光も音もない場所 そんな身がいたも僕も独りぼっち  
星が降る空は瞬き なぜか自然に  
冷めた風はやがて強くなるいつかまた  
星をとり乱す様ななないろかがやくかげら  
三日月が消えて行く頃僕の心も何かが溶けた  
太陽が白く光ると僕の心もかがやいた。おはよう。  
冷めた風はやがて暖くなるいつかまた  
青空を戻す様ななないろかがやくかげら  
星から青空へ  
青空から降り注ぐ様ななないろかがやくかげら

## バのままに

ある朝目が覚めてタバコに火をつけた  
陽が僕らを照らしている  
さっき見た夢の青を考えたがらぼぼんでいる自分がいる  
バのままに生きるがら白い霧は消えて行く  
スコードをあげてトネル抜けたらまて  
夢の続きが見れるから  
これから僕らの道は進むべになるのは希望と勇気だけ  
昼下がりの金曜日 カド雲を見た  
「君はどこへ行くのたさう？」  
希望と絶望は紙一重だから常に僕はプラス思考  
バの中に隠れる臆病はもうない  
形あるものだけチロレしてたらまて何も見えなくなるんだよ  
これから待つべき素晴らしい世界には悲しみはもうない  
これ僕らはいつのまにか大人になる  
これで夢は夢として存在した  
胸の奥深いところには絵を描いて長い旅に出るんだよ  
スコードをあげてトネル抜けたらまて  
夢の続きが見れるから  
これから僕らの道は進むべになるのは  
希望と勇気だけ。

## アングレウ

時間通り乗るな電車見ゆる  
突然雨が降って持ち合わせた傘ない  
窓の外から強烈吹く風一つ  
ぼーとしてたらすぐに朝の光がさす  
一分たつたとしてもなんも事ないけど  
降り続く一秒で大きくなる  
いつでもどこかいて聞えてる音がある  
残された僕を呼んでいる声なのかな？  
春がすみ空 焦く手が届くのに  
見上げるばかりいつも僕は見上げるだけ  
すれ違う人の波のうねりを切中をききつけて僕なりに奇てる  
いつもいる場所を誰かて比べても  
誰かが決めるんじゃない自分が決めてる事  
雲がかかったまの雨やんだ午前4時  
迷って止つてもそれが生きてる事  
いつでもどこかいて聞えてる音がある  
自分で自分を呼んでいる声だった  
いつでもどこかいて聞えてる音がする  
残された時を刻んでいる一秒だった

## 紅いまち

そろそろ日が落ちる頃 ぼんやり空眺めた  
紅いろの景色だけがすめて  
街の光 照らされ 草色になつた  
ため息がでてきても 白くなつた  
つらい事ばかりがいつまでたっても繰り返し  
いつか消えてなくなるでしょう。  
どこまで行こうかな？

籠の中の昨日までの天気予報 凧の雨  
願ひ込めて 数える3秒 流れ星が消えるまでに  
僕はこれを一度にすべて覚える事はない。だから  
どこか紙に書いておこう、大事な事忘れぬ様に  
籠の中の天気予報 昨日までと繰り返しても  
雨があがる時間だけは少しだけ早くなるよ  
そろそろ日が落ちる頃 ぼんやり空眺めた  
紅いろの景色 ぼんやり 草色になつた  
街の光 照らされ 草色になつた